



すみたい厚真、
いきたい厚真

厚真町庁舎周辺等整備基本構想・基本計画 (案)

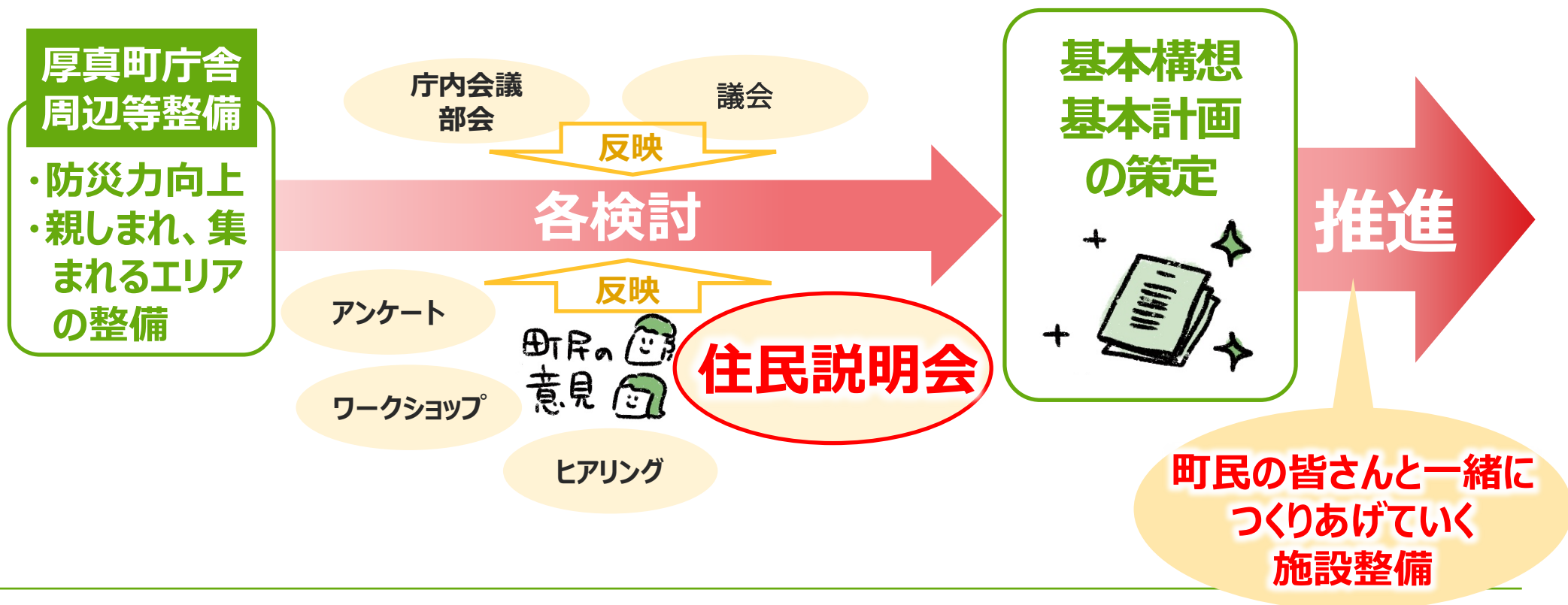
住民説明会

令和5年2月13日 (月) 厚北地域防災コミュニティセンター「ならやま」
令和5年2月15日 (水) 総合福祉センター
令和5年2月16日 (木) 厚南会館

本日の説明会の主旨

厚真町庁舎周辺等整備事業について

北海道胆振東部地震を教訓とした**防災力の向上**、**町民の皆さまに親しまれ、集まれるような**役場庁舎と周辺施設の整備に向けた「基本構想・基本計画」を策定します。



本日のご説明内容

- 1 これまでの**検討経緯**
- 2 **基本構想・基本計画（案）**の内容
- 3 計画実現に向けた**スケジュール**

皆様にお配りしたアンケートの
ご協力をお願いいたします

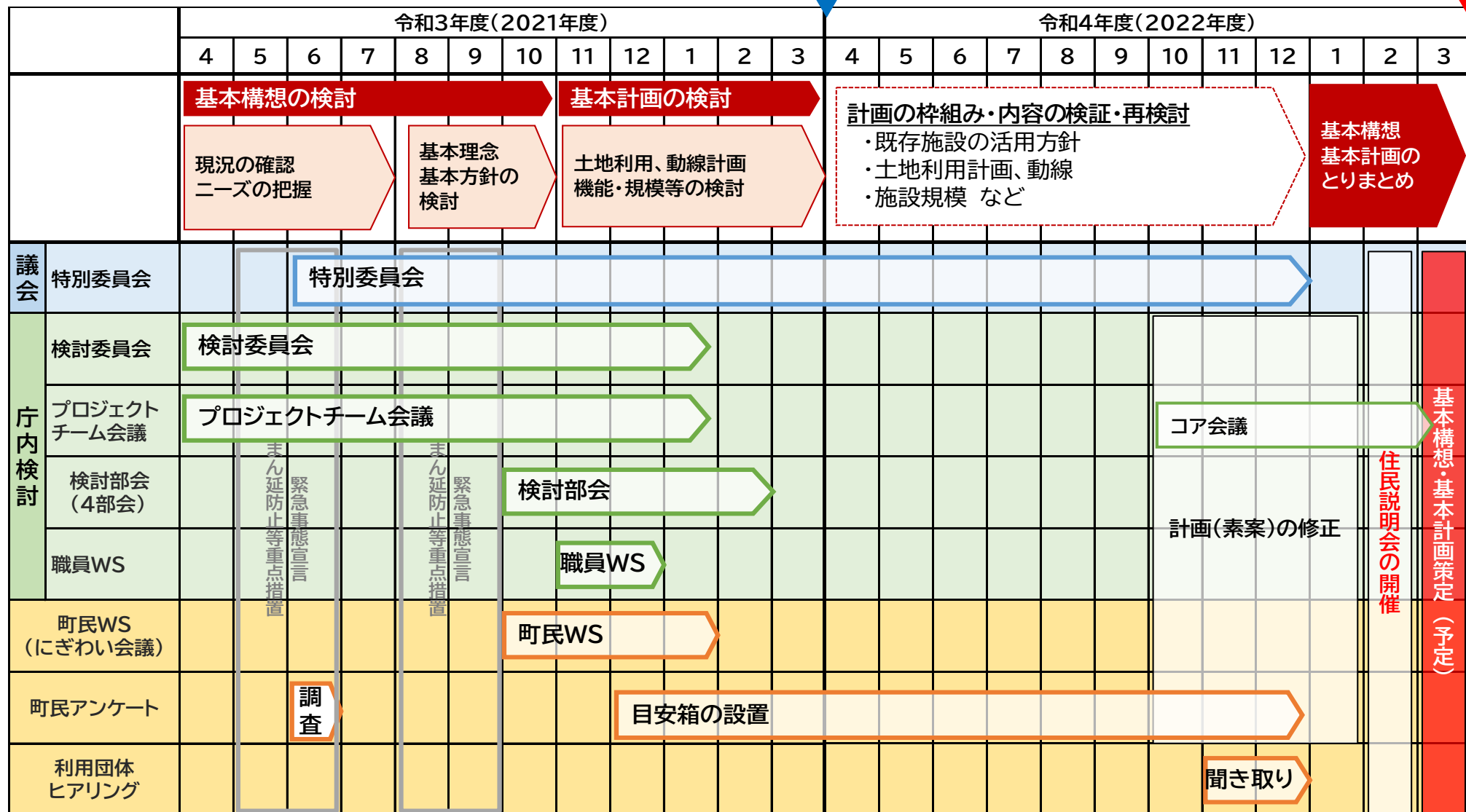


① これまでの検討経緯

① これまでの検討経緯

当初の策定予定

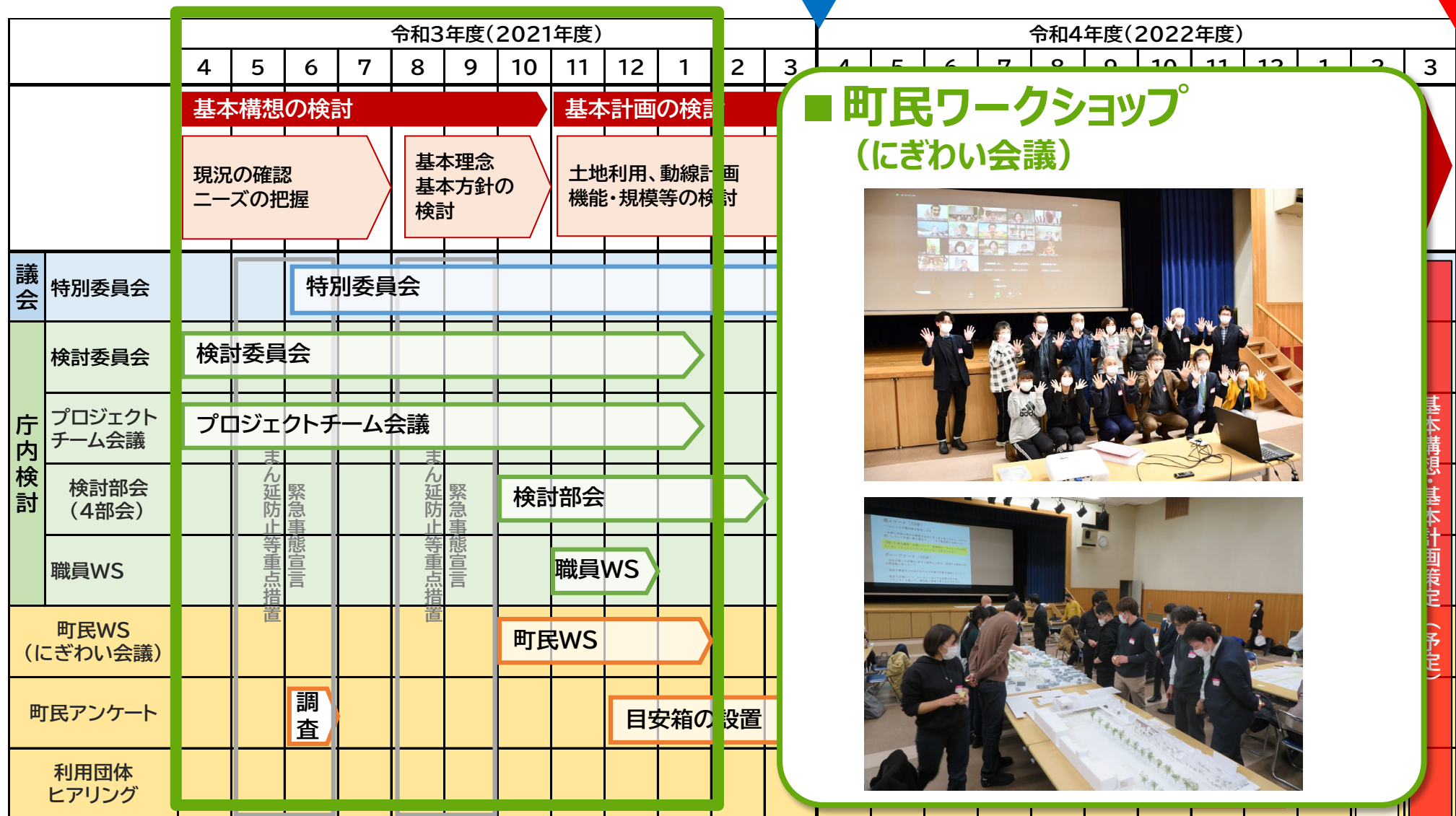
現時点の策定予定



① これまでの検討経緯

当初の策定予定

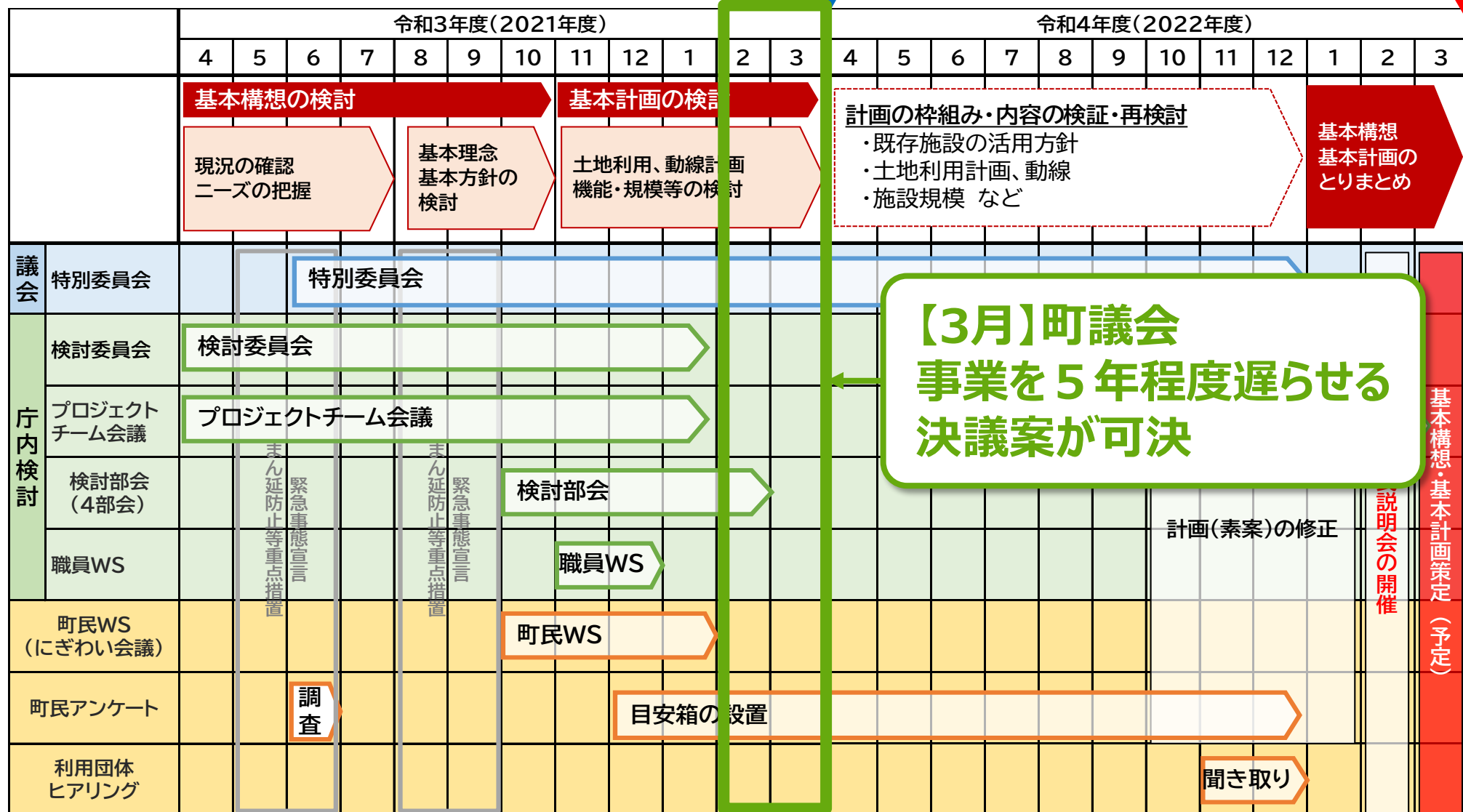
現時点の策定予定



① これまでの検討経緯

当初の策定予定

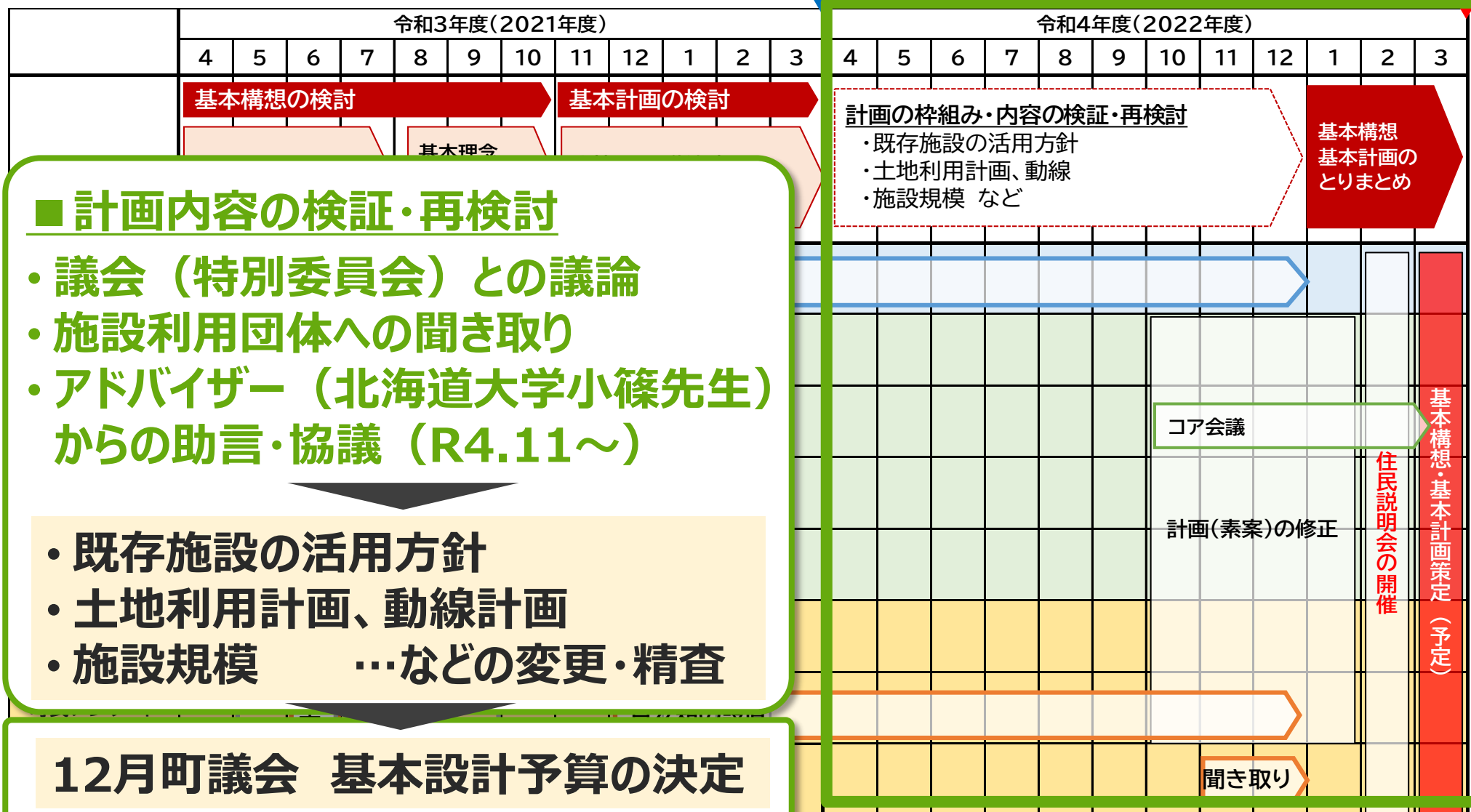
現時点の策定予定



① これまでの検討経緯

当初の策定予定

現時点の策定予定



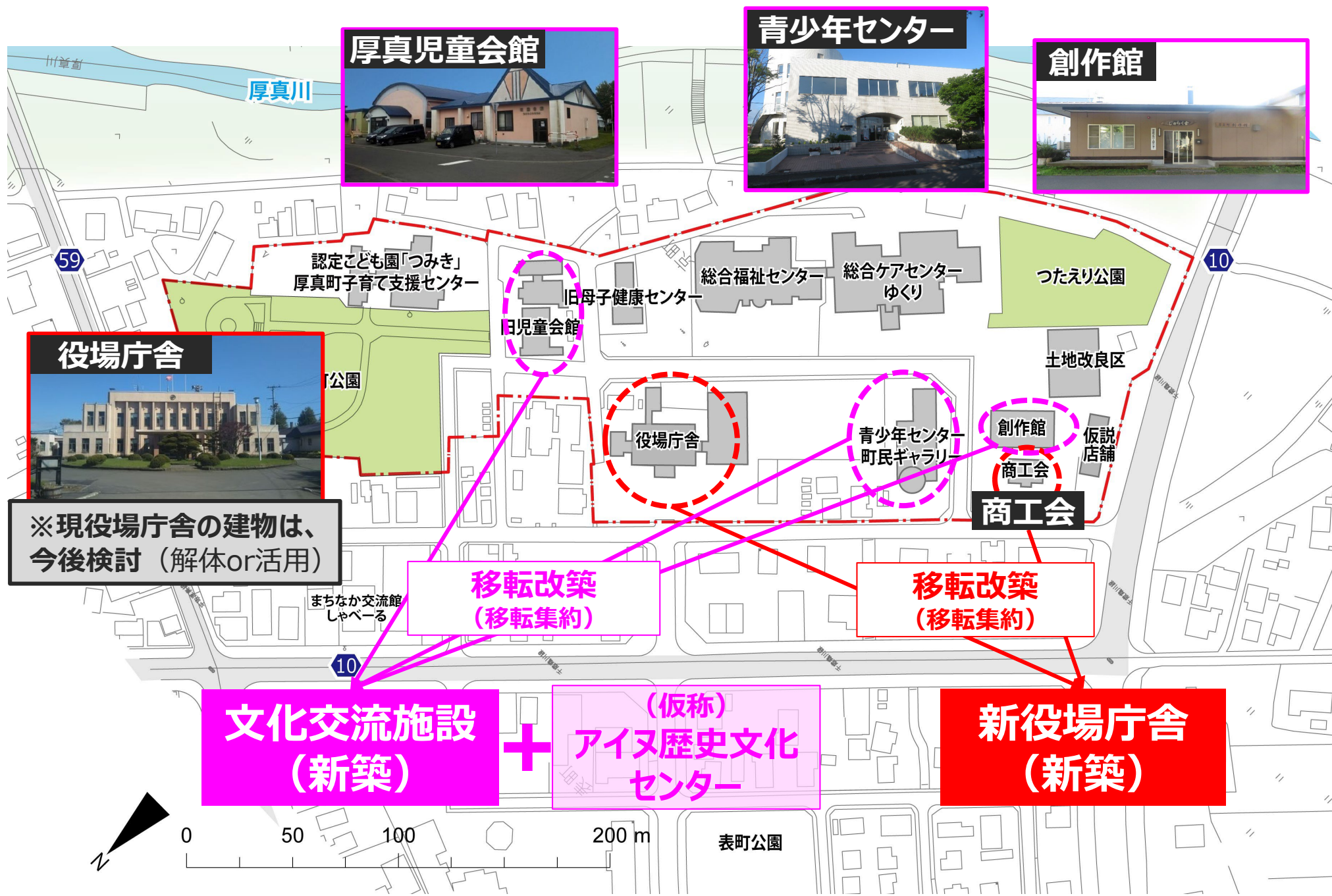
② 基本構想・基本計画（案） の内容

2-1. 対象エリア

- 役場庁舎をはじめとする公共施設が立地するエリア + 消防庁舎



2-2. 各施設の活用方針



2-2. 各施設の活用方針

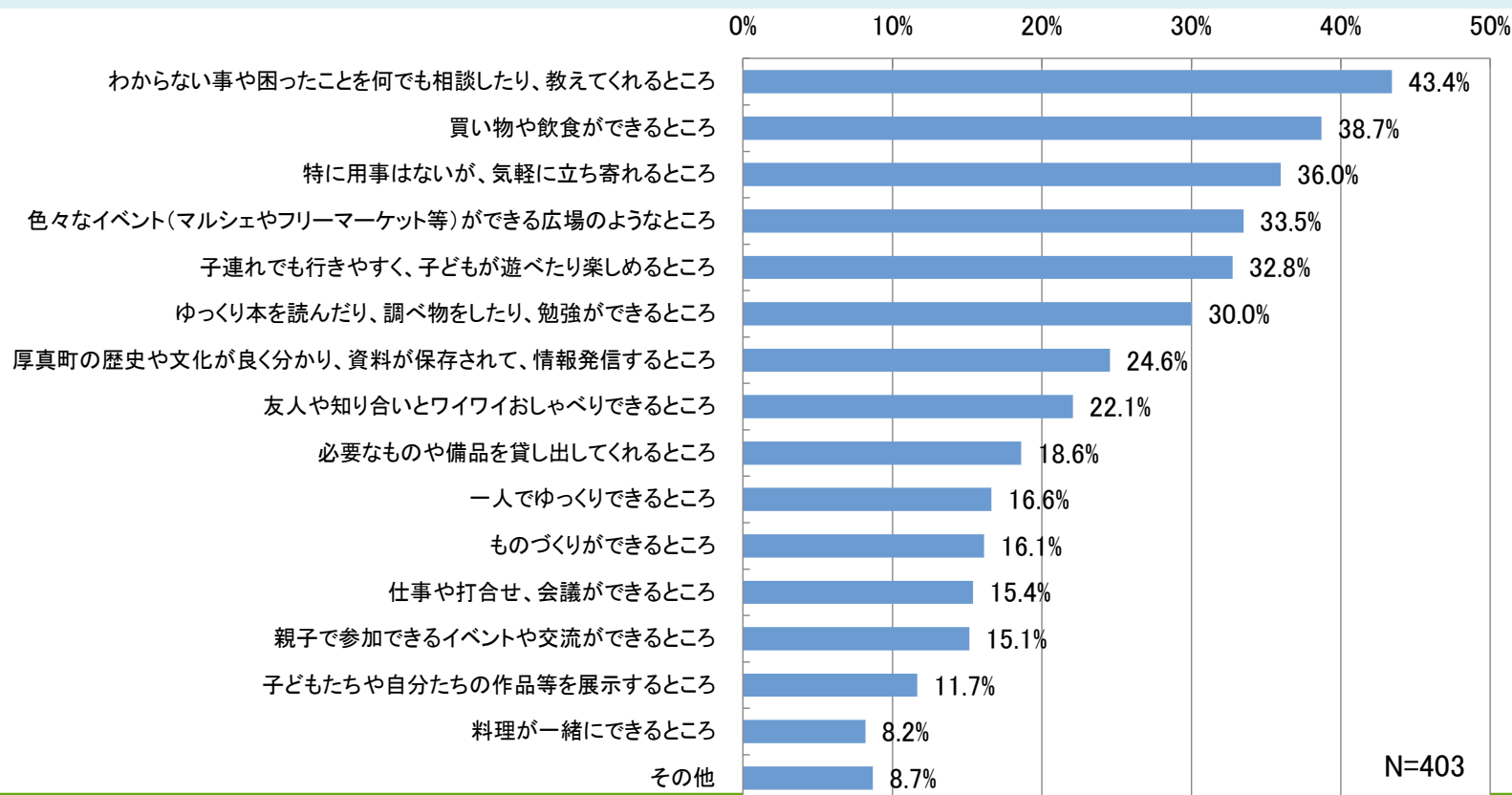


2－3．基本理念・基本方針

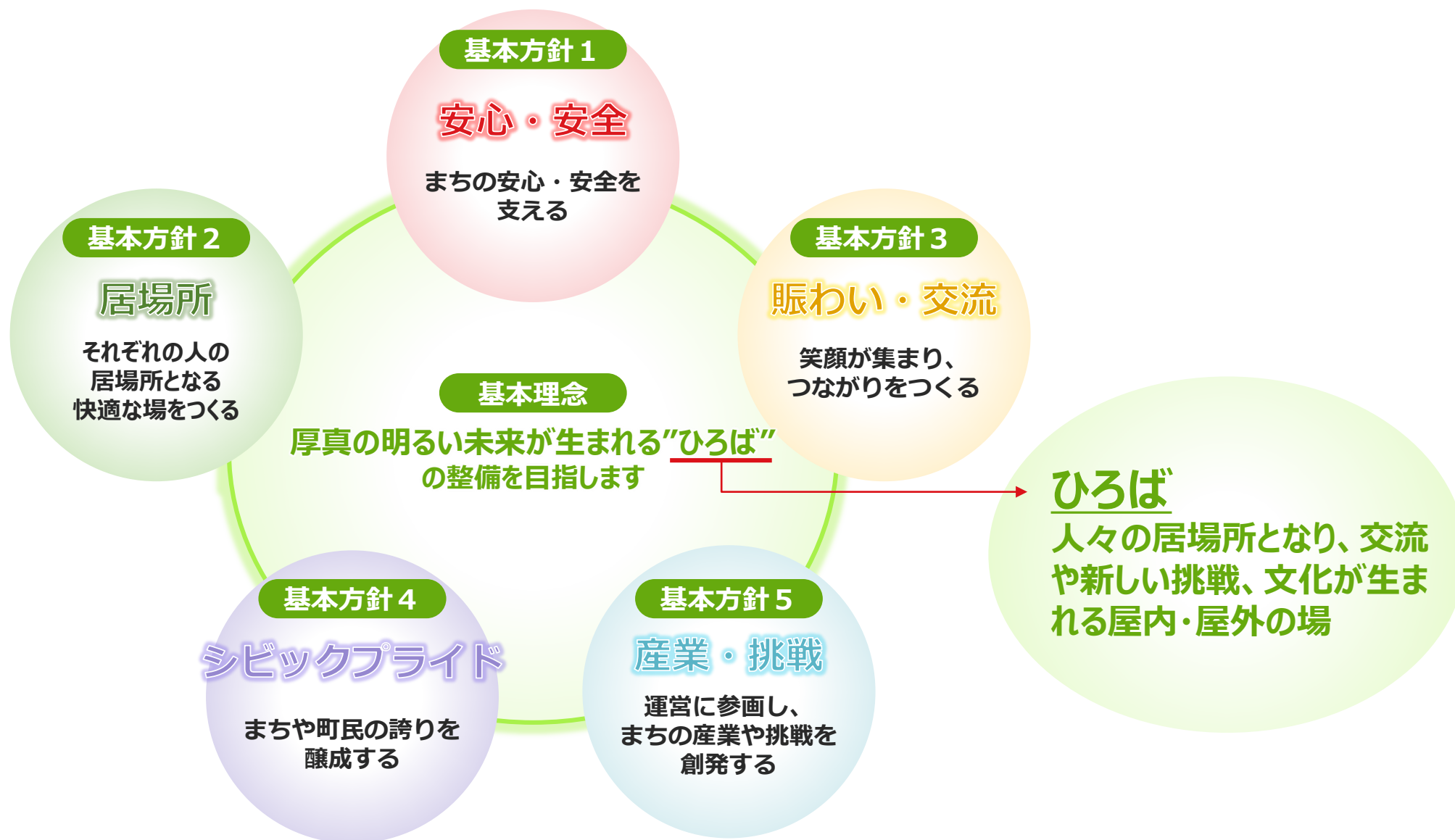
①アンケート調査

《必要だと思うところ》

相談、買い物・飲食、気軽に立ち寄れるところ、広場、子どもが遊べる、本を読む…などが上位



2－3．基本理念・基本方針



2-3. 基本理念・基本方針



日常生活の中で みんなが“ひろば”を使い
まちのコアに にぎわいを生み出したい

朝

昼

夜



親子



子ども



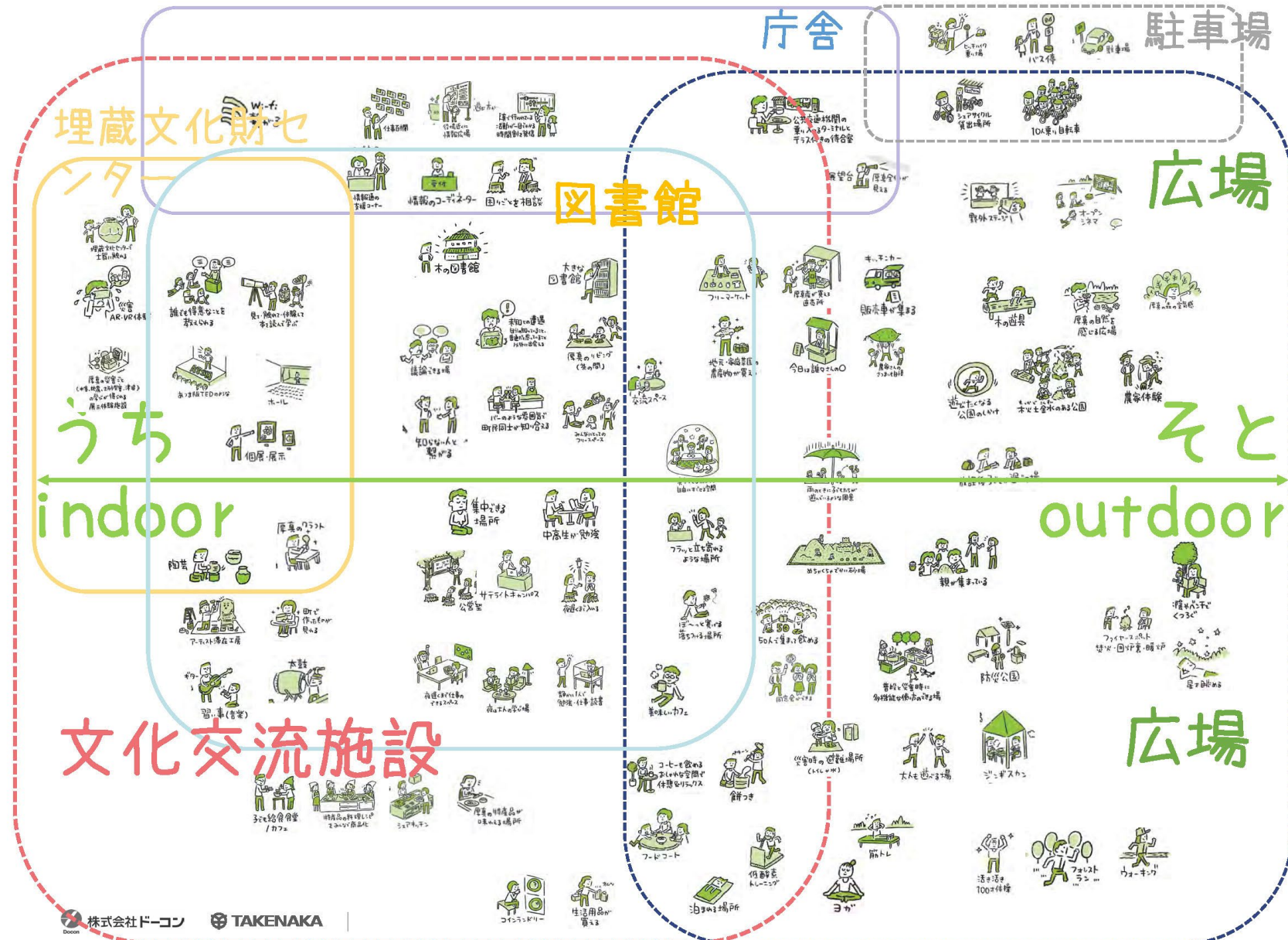
学生



大人

2-4. 土地利用計画

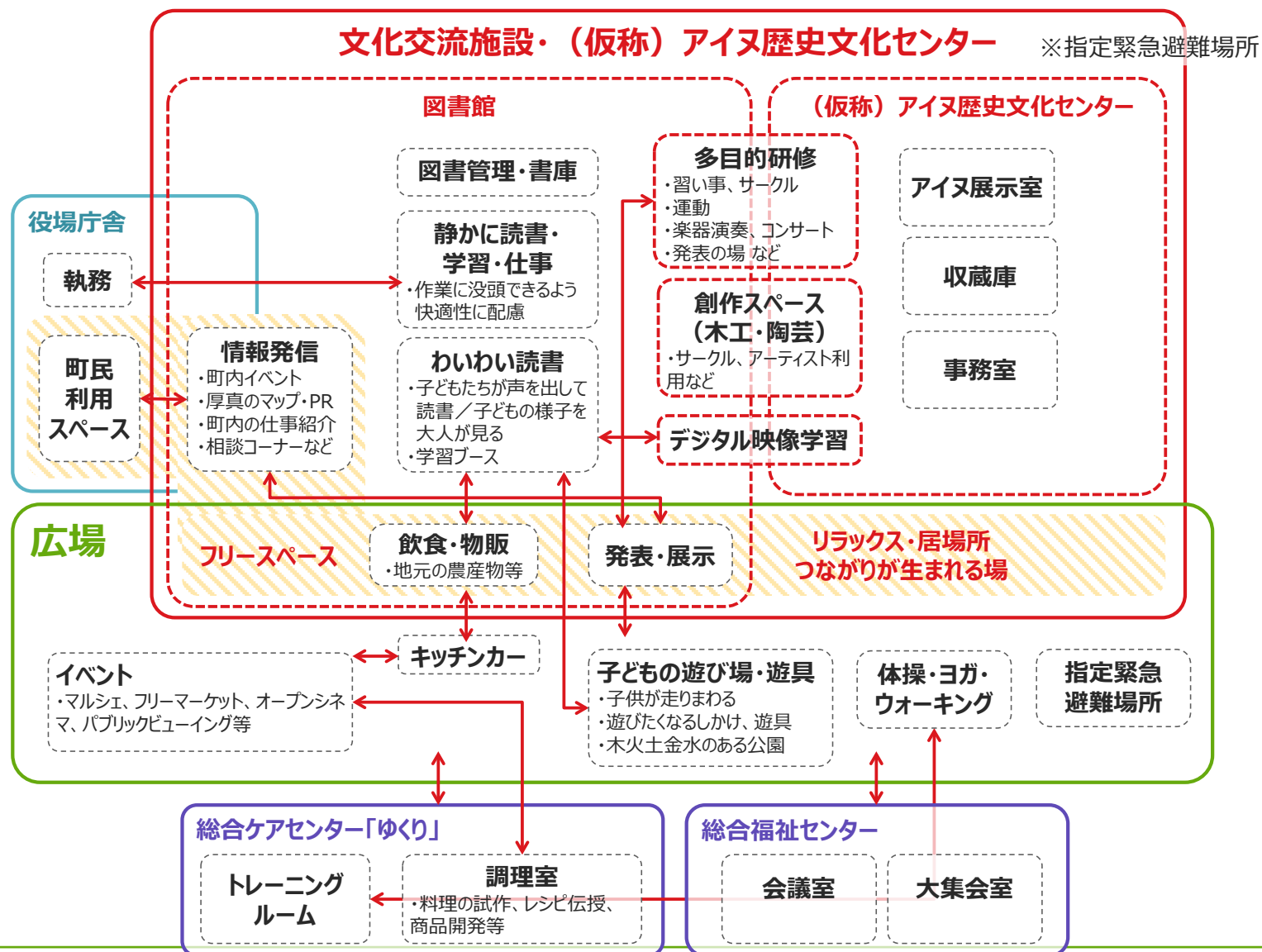
様々な機能・活動（アクティビティ）が、屋内・屋外にわたり、つながる配置計画へ



2-4. 土地利用計画

様々な機能・活動（アクティビティ）が、屋内・屋外にわたり、つながる配置計画へ

各機能の関係図



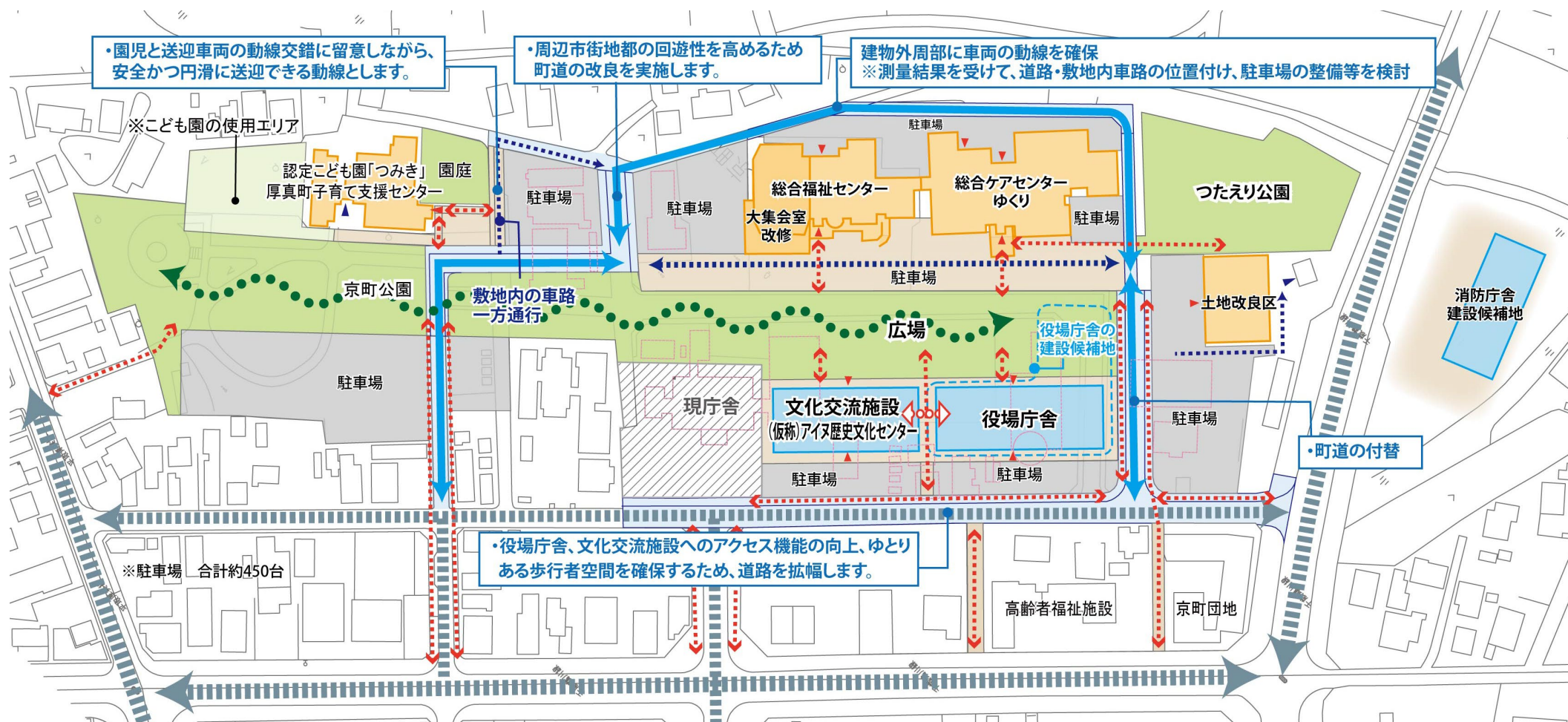
2-4. 土地利用計画

- ① 周辺との連携・ネットワークを重視
- ② 広場を庁舎周辺エリアの中心に配置
- ③ 広場を囲うように新たな建物（新庁舎、文化交流施設）を配置



2-4. 土地利用計画

- ① **車両動線**…町道の付替や改良の実施、庁舎周辺エリアの外周部に駐車場を配置
- ② **歩行者動線**…周辺地区からのアクセス動線確保、建物と広場が一体となった人中心の空間へ転換、建物間を雨に濡れずに行き来できる歩行者動線の確保も検討



2-4. 土地利用計画

 : 昨年度からの変更箇所

【参考】今年度の基本計画の検証・再検討の内容

【施設の活用方針】

- ・青少年センター → 解体による機能集約
- ・総合福祉センター → 大集会室機能の拡充も含めて検討
- ・現役場庁舎 → **保存/活用は今後の検討へ（周辺道路網も変更）**

【土地利用計画・動線】

- ・広場に駐車スペースを配置 → **総合福祉センター・総合ケアセンターゆくり前面に駐車場・車路の確保／総合福祉センター隣接に駐車場を確保（→つたえり公園は現状のまま）**
- ・認定子ども園における車両動線の安全性確保 → 子ども園の目の前の道路は一方通行

【庁舎】

- ・議場の規模、設計のあり方 → 十分なスペースを確保／多目的利用も含めて検討
- ・庁舎に団体を入れる場合の十分な協議 → 今後も継続協議

【消防】

- ・十分な広さの敷地を確保 → 敷地は道道10号線千歳鵜川線の沿道、厚真大橋の隣接地

2－5．防災計画

（１）洪水浸水対策の考え

- 役場庁舎、文化交流施設・（仮称）アイヌ歴史文化センターは、土地のかさ上げや1階の床レベルの高さ設定、浸水防水対策の実施を検討
- （仮称）アイヌ歴史文化センターは、貴重な文化財を保護するため、2階レベルに配置

（２）災害対策本部

地震	● 役場庁舎の被害を確認し、安全に使用することが可能と判断した場合、 <u>庁舎内</u> に災害対策本部を設置
洪水	● 浸水による庁舎周辺エリアの孤立化を避けるため、厚真川の警戒レベルに応じて、防災対策を指揮する機能を、 <u>厚真中央小学校</u> や <u>厚真中学校</u> などの既存公共施設に設置することを想定。

（３）備蓄庫

- 庁舎周辺エリアにある備蓄倉庫は、当エリアにおける洪水浸水リスクを考慮し、浸水想定区域外の新町の敷地に新たに整備

2-6. 各施設の基本計画

(1) 役場庁舎

整備方針

① 訪れやすく誰もが利用しやすいサービス拠点づくり

- ⇒ 相談内容やプライバシーに合わせた窓口
- ⇒ 待合スペースの拡充
- ⇒ 情報発信

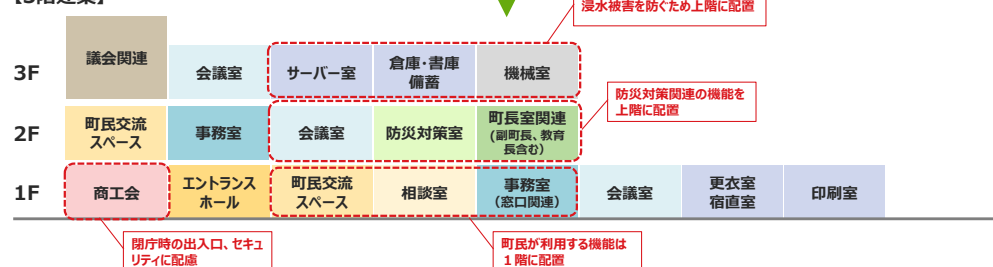
② コンパクトでストレスフリーな庁舎ワークプレイスづくり

③ 安全安心・頼りがいのある将来を見据えた行政拠点づくり

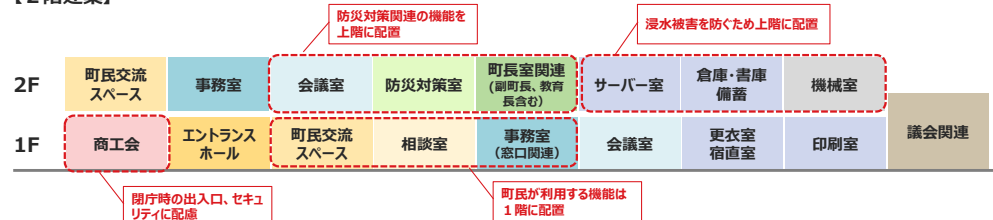
- ⇒ 災害対策本部機能に相応しい安全対策
- ⇒ アクセスしやすい動線計画

- ✓ 町民が利用する機能は1階に配置
- ✓ 防災対策関連の機能を上階に配置
- ✓ サーバー室・機械室等は、浸水被害を防ぐため上階に配置

【3階建案】



【2階建案】



2-6. 各施設の基本計画

(2) 文化交流施設・(仮称) アイヌ歴史文化センター・広場

整備方針

①機能が連携・融合した施設づくり

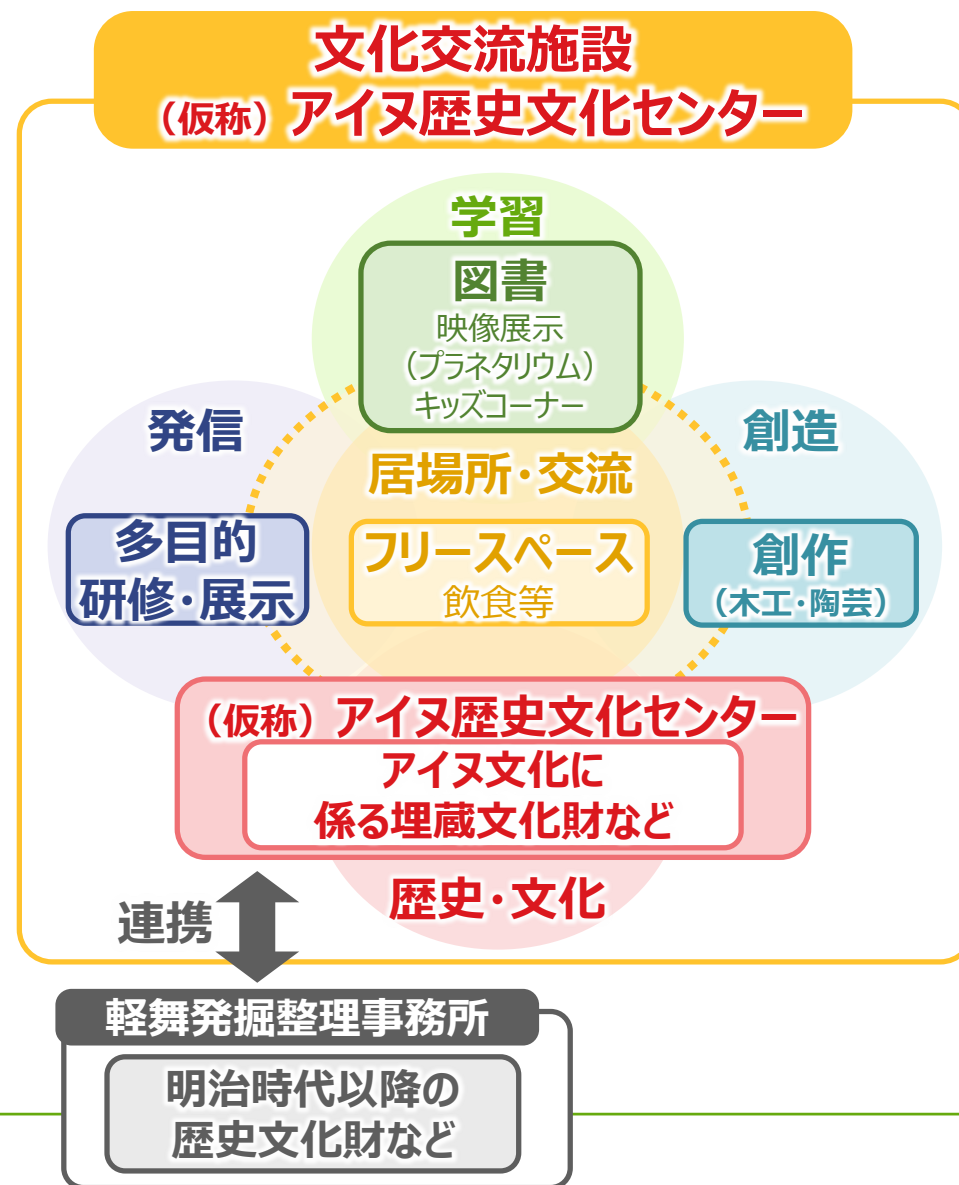
⇒ 新たな活動や交流の創出、新たな厚真の文化を育む場づくり

②施設と広場が一体となった「まちのリビング」づくり

⇒ うち（施設）とそと（広場）が一体
⇒ まちの“居場所”となる居心地の良い空間

③町民が参加する施設の運営・活用

⇒ 整備して終わりではなく、町民自らが施設の運営や活用に参加する仕組みを構築



2-6. 各施設の基本計画

(2) 文化交流施設・(仮称) アイヌ歴史文化センター・広場

整備方針

①機能が連携・融合した施設づくり

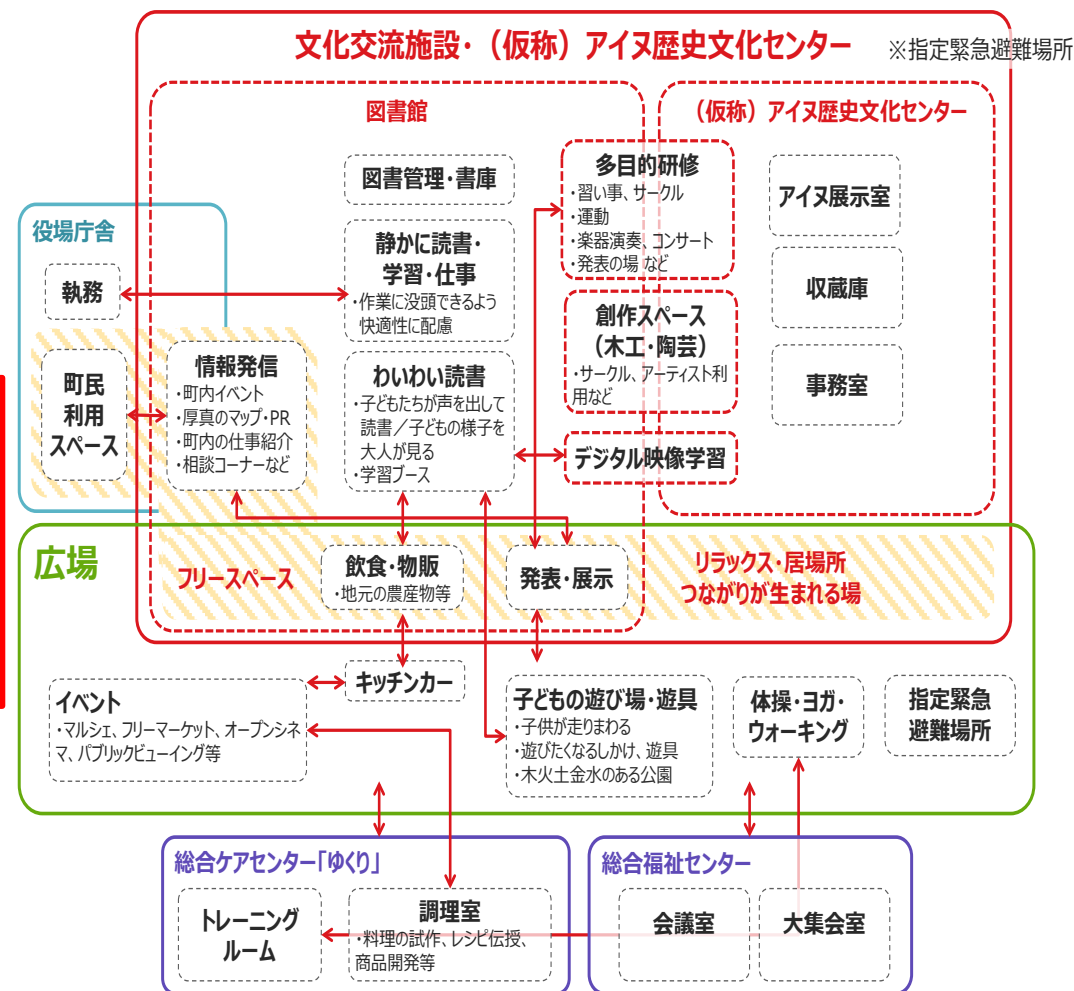
⇒ 新たな活動や交流の創出、新たな厚真の文化を育む場づくり

②施設と広場が一体となった「まちのリビング」づくり

⇒ うち（施設）とそと（広場）が一体
⇒ まちの“居場所”となる居心地の良い空間

③町民が参加する施設の運営・活用

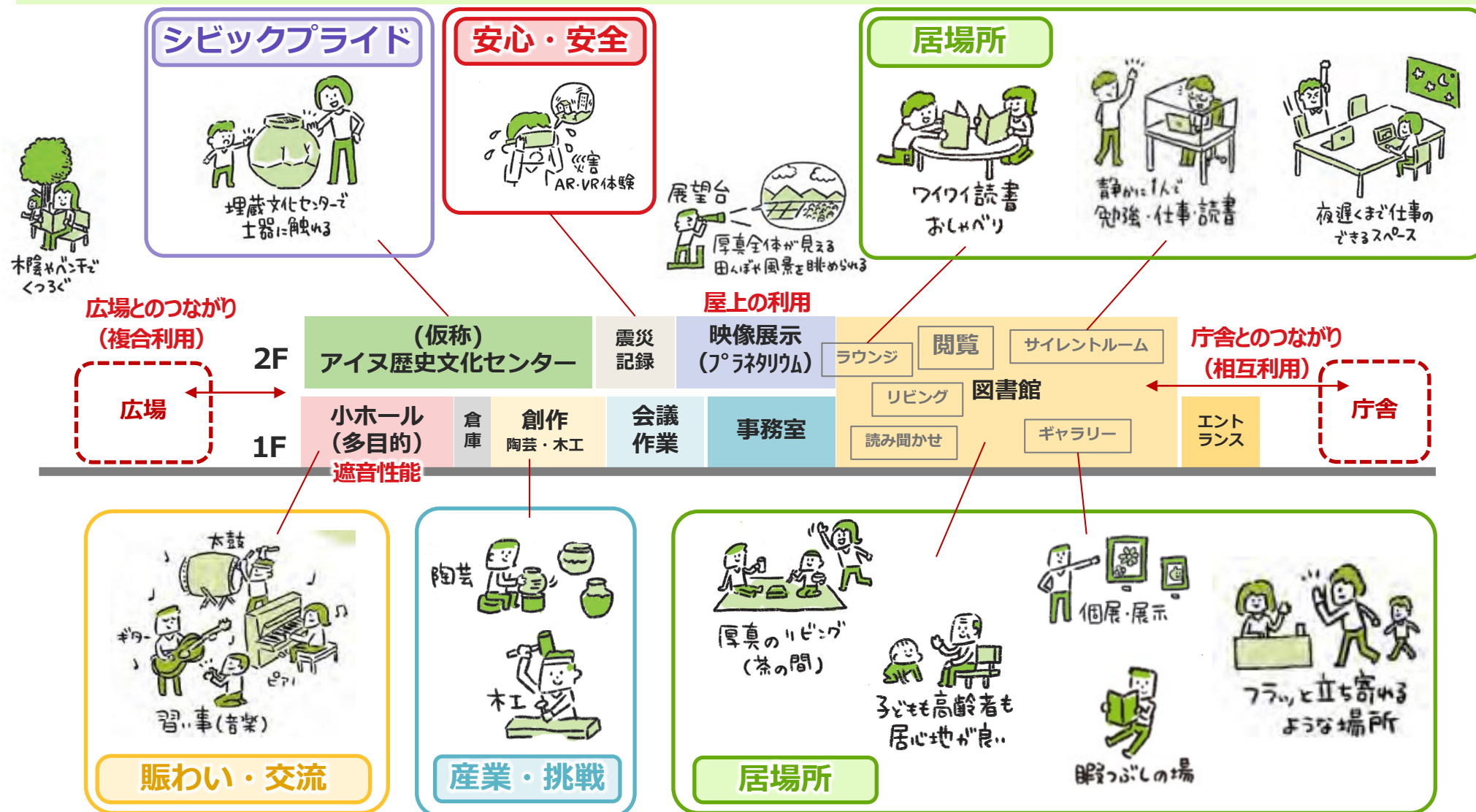
⇒ 整備して終わりではなく、町民自らが施設の運営や活用に参加する仕組みを構築



＜複合する事による多様な使い方ができるスペース＞

2-6. 各施設の基本計画

(2) 文化交流施設・(仮称) アイヌ歴史文化センター・広場



2-6. 各施設の基本計画

(2) 文化交流施設・（仮称）アイヌ歴史文化センター・広場

施設の核となる
まちのリビングとしての図書館



施設と一体になった広場



2－6．各施設の基本計画

（２）文化交流施設・（仮称）アイヌ歴史文化センター・広場

整備方針

①機能が連携・融合した施設づくり

⇒ 新たな活動や交流の創出、新たな厚真の文化を育む場づくり

②施設と広場が一体となった「まちのリビング」づくり

⇒ うち（施設）とそと（広場）が一体

⇒ まちの“居場所”となる居心地の良い空間

③町民が参加する施設の運営・活用

⇒ 整備して終わりではなく、町民自らが施設の運営や活用に参加する仕組みを構築



2-6. 各施設の基本計画

(2) 文化交流施設・(仮称) アイヌ歴史文化センター・広場

今後、町民の皆さんと一緒に
施設の運営や活用方法を検討しながら、建物の検討を具体化



2－6．各施設の基本計画

(3) 消防庁舎

建設候補地の選定

市街地全体が厚真川洪水浸水想定区域に含まれており、現消防庁舎付近に建て替えた場合であっても盛土工事が必要となること、救急・火災時の出動を考慮した場合、市街地の近くに建設することが望ましいことなどを踏まえたうえで、建設候補地を選定

- ✓ 洪水災害時に消防庁舎が**孤立しない場所**であること
- ✓ 市街地の中で**最も高い道路に接続**可能な場所であること
- ✓ 災害時に**厚真川左岸・右岸のどちらにも出動**ができること
- ✓ 災害時の**緊急避難場所**として使用できること
- ✓ **新役場庁舎と近く**（特に災害時に）**連携**を図りやすいこと

総合的な観点から、厚真大橋隣接地を選定

2－6．各施設の基本計画

(3) 消防庁舎

整備方針

①消防対策活動拠点として機能を発揮できる施設の整備

⇒ 迅速な消防・救急活動、将来の変化に対応、災害に強い安全な庁舎

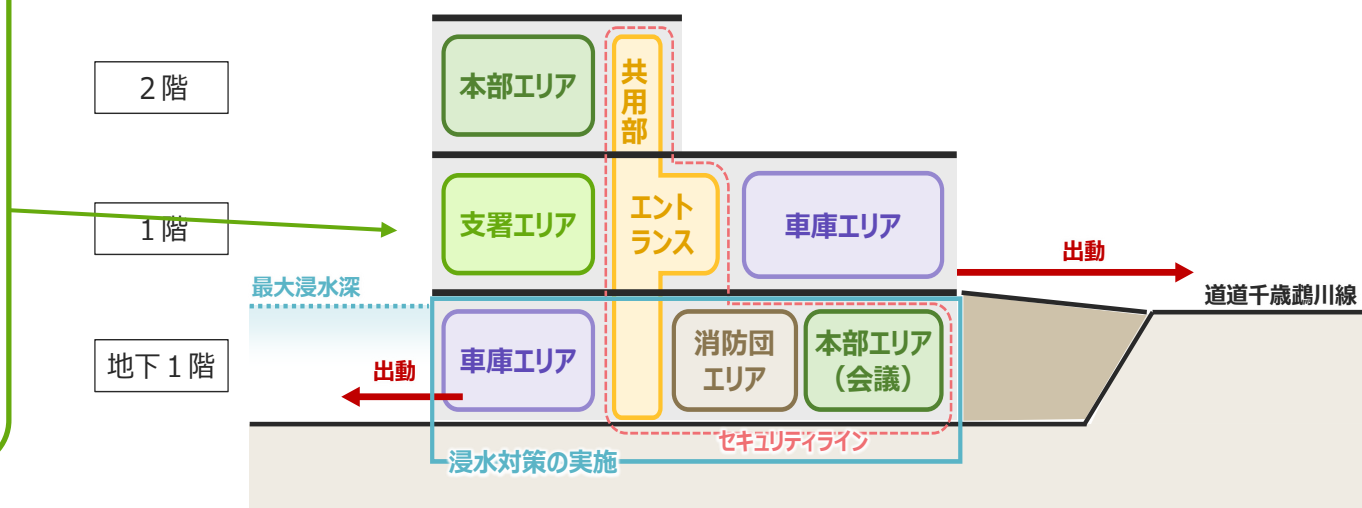
②消防に関わる訓練・教育の拠点となる施設の整備

⇒ 技術習得・技術向上の実践的訓練施

⇒ 火災予防や防災訓練等の普及啓発、防災関連情報の発信

③人と環境にやさしい施設の整備

- ✓ 消防活動に必要となる諸室は、浸水しない安全性を確保した高さ
- ✓ 消防活動や防災関連情報の発信の検討（胆振東部地震の消防活動アーカイブ、消防で働く事の魅力発信等）



③ 計画実現に向けて

③ 計画実現に向けて

区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)
役場庁舎	基本 構想 ・ 基本 計画	基本 設計	実施 設計	施工 (建設)	供用			
文化交流施設・(仮称)アイヌ歴史文化センター				実施 設計	施工 (建設)	供用		
総合福祉センター					実施 設計	施工 (改修)	供用	
広場・公園					実施 設計	施工	供用	
消防庁舎			基本設計	実施設計	施工 (建設)	供用		
			造成 設計	造成				

③ 計画実現に向けて

概算事業費

No.	施設名	区分	面積 (㎡)	概算事業費 (億円)
1	新役場庁舎	建設	2,900	20.7
2	文化交流施設	建設	2,360	16.4
	文化交流施設		2,000	13.9
	(仮称) アイヌ歴史文化センター		360	2.5
3	青少年センター	解体	-	0.8
4	創作館	解体	-	0.1
5	児童会館	解体	-	0.3
6	総合福祉センター	改修	598	2.7
7	旧母子健康センター	解体	-	0.1
8	外構(京町3号線延長 含む道路・公園・駐車場等)	整備	-	7.5
9	その他(備品)	備品		2.0
合 計				50.6
10	新消防庁舎	建設	2,000	13.0
11	現消防庁舎	解体	-	0.5
合 計				13.5

※調査・計画設計費、工事監理費、移転費等は含まれていません。

※(仮称) アイヌ歴史文化センターには、展示工事費は含まれていません。

※今後の社会情勢により建設資材の高騰や人件費の上昇などにより変動する可能性があります。

財源

国土交通省「都市構造再編集中支援事業」や「サステナブル建築物等先導事業」、「優良木造建築物等整備推進事業」、環境省「レジリエンス強化型ZEB実証事業」、林野庁「JAS構造物材利用拡大事業」、内閣府「アイヌ政策推進交付金」等の各種補助・交付金制度について情報収集を行い、積極的な活用を目指します。

